



1人の100歩より、 みんなの1歩

一人の行動はほんのわずかなことかもしれませんが、みんなが少しずつ環境や周りの人のことを思いやって行動すれば、大きな一歩になります。身の回りにあるできそうなことを探して、一歩踏み出してみませんか。

できそうなことからやってみよう

SDGsにある17の目標の中から、自分にできること、できそうなことを探してみよう。目標14に掲げられた「海の豊かさを守ろう」のように、一見壮大な目標だと感じるものでも、意外と日常生活において、個人で貢献できることがたくさんあります。例えば、買い物にレジ袋ではなくエコバッグを使えば、海に流れ込むプラスチックの削減につながります。また、節水を心掛ければ、目標6の「安全な水とトイレを世界中に」に貢献できます。他にも、SDGsをまだ知らない人にSDGsのことを教えてあげれば、直接的に17の目標には当てはまらないかもしれませんが、SDGsの普及に貢献していると考えられることもできます。

想像力を働かせると、自分にできることがたくさん見つかるはず。一人の行動はほんのわずかなことかもしれませんが、みんなが少しずつ環境や周りの人のことを思いやって行動に起こせば、大きな一歩になります。まずはできることから、一歩踏み出してみよう。



10 人や国の不平等をなくそう

小学6年生です

富田 楓夏さん = 伊達崎小 =

伊達崎小学校は、人数が少ないからこそ学年を越えてみんなの仲が良い学校だと思います。友達と過ごす中で、自分とは違う考えをもつ人がいても、まずは相手の気持ちを受け止めるようにしています。伊達崎小ならではの「仲良し」の伝統がずっと続くように、相手を思いやる心を大切にしていきたいです。

わたしたちにできること こんなに身近にあったSDGs!

SDGsを意識していなくても、すでに17の目標に基づいて実践していることがあるかもしれません。町の皆さんに、身の回りで取り組んでいること、これから取り組んでみたいことを聞きました。自分にもできそうなことがあれば、一緒に実践してみよう!



4 質の高い教育をみんなに

小学校の教員です

丹治 恵美さん = 万正寺 =

釧路小学校で4年生の担任をしています。桑折町では、一刻も早く電子黒板やタブレットを導入した授業を展開し、家庭での読書の時間を大切にする「家読」や朝の反復学習など、多彩な教育に取り組んでいます。自分の言葉で自分の考えを話し、相手の気持ちを理解できる人に育ってほしいと思います。



3 すべての人に健康と福祉を

生活相談員です

佐竹 宏信さん = 前屋敷 =

社会福祉法人コクーンで、利用者さんとケアマネジャーの橋渡し役となる生活相談員として勤務しています。利用者さんが安心して介護サービスを受けられるように、同じ目線に立ち、常に笑顔でいることを心掛けています。生涯の一部に携わることができる有難さを感じながら、一人一人に寄り添っていきたいです。



14 海の豊かさを守ろう

子育て中のママです

後藤 小百合さん = 下郡下 =

SDGsの第一歩として、「レジ袋を貰わず、マイバックを持ち歩くこと」を実践しています。レジ袋を使わないことで、海洋プラスチックのごみ削減に少しでも貢献できたらと思っています。SDGsって正直何をしたら良いのだろう...と悩んでいましたが、まずは日常生活で手軽にできることから始めてみたいです。



12 つくる責任 つかう責任

飲食店経営者です

鈴木 堅之さん = 追分 =

上町チアーズでは、瓶の廃棄量を減らし、環境に配慮するため、オリジナルのグラウラーを作りました。瓶に詰めるより、ビールへ負荷がかからないため、味もよりおいしく感じられると思います。店特製のグラウラーのほか、お手持ちの容器にも提供させていただきます。一緒に楽しくエコ活動をしていきましょう。



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

2児の父です

佐藤 真悟さん = 久保八幡 =

昨年自宅にソーラーパネルを設置し、オール電化に切り替えました。火を使わないので、環境にやさしく、安心して生活できます。家庭で使う電気はほとんど太陽光と蓄電池で賄い、足りない分だけ供給しています。町の補助金を使って、冷蔵庫やテレビを省エネ製品に買い替え、家族みんなでエコに取り組んでいます。



6 安全な水とトイレを世界中に

専業主婦です

皆川 文子さん = 下高屋 =

日ごろから節水に気を付けています。例えば、趣味で育てている花や野菜の水やりで自宅の井戸水を使ったり、洗濯をする時にお風呂の残り湯を使ったり、また、料理で炒め物をする時なるべく水や洗剤を使わず、手ぬぐいでフライパンの汚れをふき取ってから少量の水で洗うなどして、水を大切にしています。